

第3回 学校運営協議会 記録

日 時 令和6年11月13日（水） 午後1時30分～3時30分

場 所 浜松湖北高等学校佐久間分校応接室

出席者 委員（敬称略） 佐藤悟、遠藤睦子、坪井俊介、大見拳也
学校 新井淳一校長、佐藤敦副校長、長谷川竜一教頭

【開会】

1 授業見学

2 議事 会議成立 委員4人全員出席

ア 佐久間分校の近況報告

〔事務局説明〕佐久間分校の近況について

《委員質問・意見》

- ・寮の運営に対する資金援助のためのクラウドファンディングを計画している。
- ・進路実績がすばらしい。佐久間分校の生徒に入社してほしいと考えている企業と話をしたことがある。性格の良さを重視する企業もある。企業向けの情報発信も積極的にお願いしたい。
- ・佐久間ダムまつりで、竜神の舞に寮生が参加していた。

（事務局）寮を運営する方々など、地域の方々が声をかけていただくことで、生徒が参加しやすい環境を作っていたりしている。生徒を地域に受け入れていただき、ありがたく思う。

イ R6年度 地域総合類型 3年生「地域実践」の取組の進捗状況

〔事務局説明〕3年生「地域実践」の取組の進捗状況について

《委員質問・意見》

- ・トレーディングカードの広報は、地域貢献を考えているJRに協力を依頼できるのではないかと。飯田線沿線の方、外部の方にも知ってもらうことができる。
- ・飯田線に協力いただければ、沿線の愛知、長野の方にも人気が出るのではないかと。
- ・県外の方をターゲットにするならガソリンスタンドに協力を依頼するとよいのではないかと。オートバイに乗る方々の情報網を活かすと良い。
- ・オートバイという視点では、本田宗一郎ものづくり伝承館や設楽のコンビニエンスストアにも広報の協力を依頼するとよいのではないかと。
- ・道の駅 豊根グリーンポート宮嶋も人が集まるので、広報の協力を依頼するとよいのではないかと。
- ・三遠南信の情報誌「三遠南信 Biz」に広報の掲載をお願いできないかと。
- ・地域実践の取組は、継続していくことが大事。活動場所を佐久間町中部に絞って取組をするのもよいのではないかと。そのほうが授業で取り組みやすい。

ウ 令和6年度危険等発生時対処要領（危機管理マニュアル・災害安全）（地震防災計画）

〔事務局説明〕 令和6年度危険等発生時対処要領より、「学校の状況、備品・備蓄品、避難計画、誘導方法、避難所開設、地震・風水害対応等」について

《委員質問・意見》

- ・災害対策と地域学は密接な関係がある。災害対策を題材として生徒が主体的に取り組むことができるとよい。
- ・津波の心配がないという点で、災害に対して強い学校ということもできる。
- ・飯田線が動かず登校できないとき、生徒の出欠はどのように扱っているのか。

（事務局） 飯田線が上下線ともに運休となり、登校できない場合は、休校となる。上下線の一方のみが運休になった場合は、学校は実施するが、登校できない生徒は、欠席とはせずに、出席停止としている。年に数度、飯田線の運休で授業に影響がでることがある。また、暴風警報が発令された場合は、飯田線の運行状況に関わらず、授業は行わないこととしている。

エ その他

《委員質問・意見》

- ・大学進学を希望する生徒は、推薦入試と一般入試、どちらを受験するのか。
（事務局） 個別の進路指導を重ねながら、志望校が決まっていく。志望大学の入試情報を確認するなかで、条件が合えば、推薦入試から受験をはじめるのが一般的。
- ・推薦の情報を生徒や保護者に伝えて活用できるものは活用している、佐久間分校の入試の指導はよいと思う。

【閉会】